

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



『みんなでリズムに合わせて・・・ ♪ ♪ ♪ ♪ ～～』

～放課後等デイサービス・オークリーブス～

特集： 職員のスキルアップ内部研修 ～ご利用者の幸せのために～

目 次

玉柏会 理事長より	2
“コロナ禍でのコミュニケーション”・ご寄附をいただきました	3
特集： 内部研修／1、口腔衛生： 2、理学療法	4
特集： 内部研修3、強度行動障害、グラウンド活動報告	5
玉柏会通信「納涼大会」／ オークリーブス「夏休み活動」	6
「みすず事業所」・自慢の利用者・すずちゃんのひとり言	7
「第一・第二かしわ寮 メニュー紹介」／ 新入職員紹介	8



社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みすず かりん
かしわ寮・すずらん・オークリーブス

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



油断大敵

コロナ感染の第5波が鎮静化傾向にあり、緊急事態宣言が解除されました。しかしコロナウィルスが根絶された訳ではなく予防薬と治療薬がそろえば3密を避け、消毒・手洗い・マスク・うがいを徹底していく事が肝要です。それにしても急激に感染者数が減ったのは何故でしょうか。複数の要因があると思いますが、今後の対策のためにも政府はこの際しっかり検証して戴きたいと思います。医療の専門家だけでなく行動心理等の社会科学の専門家も総動員する事が必要です。専門家や学者の意見を聞くのがいささか苦手なあるいは嫌だと思ふ人が多いようですが、事は国民の命にかかわる事ですから、政府は謙虚な姿勢で減少理由を検証する事を期待します。



社会福祉法人玉柏会
理事長

海野和雄

ポストオリ・パラ

東京オリンピック・パラリンピックが終了しました。スポーツの祭典・平和の祭典とは言うもののコロナ禍での開催ということもあり、何か落ち着かない雰囲気でした。しかしアスリート特にパラリンピック参加者の健闘には心打たれるものがありました。ロンドンパラリンピック後のイギリス国民の意識・行動調査ではこれを契機に障がい者への理解が格段に進み、サポートの福祉活動も厚みを増してきたとの報告がなされています。日本でも障がい者との接点が広がり、交流の機会が増えていく事が期待されます。玉柏会でも地域での共生（ともいき）活動を通して、お互いに理解・尊重・支え合うSDGsを意識して進めています。

一方で、大会関係者の女性差別・障がい者差別・LGBT差別等の言動が明らかにされました。他者との違いを強調し、自己の優位性をいわずらに主張する風潮も依然として存在します。コロナ禍で分断を更に助長する非科学的陰謀論もSNS上で横行しています。だからこそ、そういう流れに抗して、地道ではありますが、お互いさまの活動を愚直に拡げていきます。

今こそ にやりほっと

玉柏会は、にやりほっと運動を開始して2年が経ちました。ご利用者同士、ご利用者と職員・職員同士の思わず微笑んでしまう、心あたたまるといふ言動やエピソードを意識的に見つけ出し、それをにやりほっと掲示板に掲載し皆で共有しています。新しい情報が掲載されるたびに心が洗われる思いです。元々他人同士が共同生活をしている訳ですから違いや合わない点は一杯あります。その中でどんな小さな事であっても他の人の良い所や変化を見つけた時の喜びは格別のものがあります。玉柏会という場でのめぐり合いと絆を、今後も大切に育てていきます。

「密を避け 心の中で密求め」ある職員の川柳が心に沁みます。

以 上

“ コロナ禍でのコミュニケーション ”

新型コロナの感染者数は、10月中旬現在、全国的に減少傾向にあり、自粛要請や各制限も緩和されつつありますが、海外の一部での感染拡大状況を見るにつけ、これで終息できるとは判断できず、引き続き、気を緩めることなく、対応することが大切であると思います。

コロナ禍においては、コミュニケーションのあり方が大きく変わってきました。交流の減少、大人数での集まりの自粛や、対面を控えるための会議・研修のリモート対応など、コミュニケーションの質と量に変化し、情報伝達や情報共有、また部門間の連携なども以前と比べて困難になってきた面があるように感じます。

これら職員間、部門間のコミュニケーション不足が、意思疎通を困難にし、それが業務の障害や大きな問題の発生につながることもあり得るので、当法人でも今まで以上に、意識してコミュニケーションに注意を払うことが重要だと感じます。

令和3年度も上期が終了しました。重点項目としては、リスクマネジメントを大きな課題として実施してまいりました。状態が年々大きく変化しているご利用者も多いため、特に業務リスクに対して多方面から対応しています。虐待防止に関しても、より徹底するために、下期より委員会に第三者の専門家の方にもメンバーとして参加していただき、役割や機能を高めていきます。

(常務理事 濱崎宣雄)



中央原荘・かしわ寮の保護者様、後見人様へご報告



この度、中央原荘・かしわ寮のご利用者全員の新型コロナワクチン接種を、2回無事に完了致しました。皆様には、事前のハガキ提出やサイン等、ご協力いただきありがとうございました。

また、ワクチン接種に来てくださった、清水駿府病院の医師、看護師の皆様方、2日間大変お世話になり、深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

“ 鈴与カーゴネット株式会社様より ご寄附をいただきました。 ”

鈴与グループの鈴与カーゴネット株式会社様より、本年8月に1千万円のご寄附をいただきました。いただいたご寄附は、地域福祉に貢献するための事業に有効に使用させていただきます。誠にありがとうございました。

寄附金を寄贈いただいた鈴与カーゴネット株式会社の
松山典正社長(左)と 海野和雄理事長(右)



【特 集】

穴原荘 内部研修1：口腔衛生について

口腔衛生について、各フロアの支援員向け研修会を行いました。
今回の研修会では、「なぜ口腔衛生が大切だと言われているのか？…健康寿命とは？」など、口腔の役割や障害のある方の口腔衛生の必要性、各フロアで実践している歯磨き介助の様子、また口腔ケアに使用する道具等の幅広い内容をお話しました。

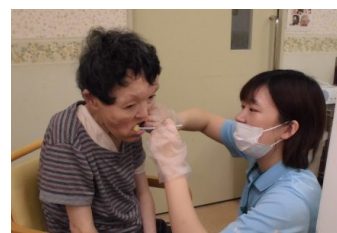
現在、各フロアが歯磨き介助を行う時間の確保や方法を工夫し実践していることで、ご利用者様の口腔衛生状態は改善傾向にあり、一定の成果が出ていると思います。

また、支援員による歯磨き介助を楽しみにされているご利用者様もたくさんいらっしゃいます。

100名以上のご利用者様全員に日常生活支援の中で【支援員による歯磨き介助を1日1回行う】ことは大変なことだと思いますが、施設支援員が口腔衛生の重要性を理解し実践していくことは、ご利用者様の健康を守り健康寿命を延ばす上で欠かせない支援となることを、ご理解頂き、今後も継続的な支援員による歯磨き介助を行っていただけたらと思います。

これからも、よりよい支援をご利用者様に提供できるような研修会を心がけていきますので、今後とも宜しくお願いいたします。

(歯科衛生士 松風雅子)



支援員による
歯磨き介助



横になって、無理なく
ブラッシング

【特 集】

穴原荘 内部研修2：理学療法研修



ご利用者へ施術中!



職員研修

令和3年6月より、株式会社リハライフサポートの澤村様・奥田様にご来荘いただき、転倒防止への取り組みとして、データで転倒しやすいご利用者をピックアップし、その方の様子説明や施術を行ってきました。その中で気になった項目を取り上げ、1回目『リハビリテーション～理学療法士の理解～』を行い、2回目『座る時の身体の動かし方・対応する運動について』の研修を行いました。

1回目の研修では、リハビリテーションは何をするのか？理学療法士って何をしてくれる人？の説明と、実際に職員が体感しようと、歩行を実践しました。歩く場面で腰に触れると意思と関係なく曲がってしまい人体メカニズムの不思議さを体感しました。

2回目の研修では、施術を受けるご利用者に座る場面で『ドッスン座り』と呼ばれる動きが多く見られるため実施し、この体操についても職員が体感しました。

普段の実践時も、ご利用者の不自由さに寄り添って下さり、「ここが痛かったのかあ。」「少しでも楽になるといいですね。」と柔らかい声かけと魔法(?)の手で触れていくことで、ご利用者の歩きが楽になったり、痛い理由がわかったり、ご利用者の声なき声を拾っていただいています。ご利用者が、少しでも元気に過ごす時間が長く楽しんで生活できるように、これからも協力して行っていきます。

(支援課長 齋藤雅志)

ご利用者の特性を捉えて支援する文化を浸透するため、2年前より玉柏会にて内部研修を展開しています。合理的配慮・自己決定などは全てご利用者の特性を支援者が正確に捉えることから始まると考えています。この基本はずっと変わらないですし、障害者支援に従事する者には必ず受け継いでほしいという願いも目的のひとつです。

8月には、穴原荘新人支援員4名に対して「アセスメントから自立課題を作成する」演習メイン、2回セットの内部研修の1回目を行いました。支援員には実際にご利用者をアセスメントしてもらい、次回その結果をもとに自立課題を作るというものです。ご利用者もそうですが、支援員にも成功体験を積んでいただき、支援の実際を知っていただくのが目的です。

9月には、みすず事業所支援員者を対象に自閉症支援内部研修を行いました。今回の内容は「記録の活かし方」に関してです。みすずは今回で3回目となります。

実際に穴原荘で取り組んだ行動支援を報告、この際に活用した記録を説明し、演習に入っていました。演習内容は、2グループに分かれ現在みすずで気になる行動を2つあげていただき、冰山モデルで分析するというものであり、その結果をもとに支援計画を考えます。支援計画に沿った記録をとり、活用の仕方までを最後に講義で伝えました。実践でも活かせる内容になったと感じています。みなさんととても真剣に取り組まれました。

(支援係長 牧田孝行)

【穴原荘】



【みすず】



～ 穴原グラウンド活動報告 ～

フライングディスク大会の練習を行いました



きれいな緑！



穴原荘の居住棟が新しくなり早8年、同時にグラウンドにも芝生を植え、かりんで管理するようになりました。4年前には就労継続支援B型事業が始まり、就Bご利用者の工賃向上のために環境整備として、月2回作業を法人から請け負っています。その成果もあり芝生の生育期(3月～10月)には青々としたグラウンドを維持しています。

芝生の活用では毎年、全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技に穴原荘から選手が選出されることもあり、県代表の練習会を年に数回行っています。今年はコロナの影響で大会は中止となりましたが、練習会は2回実施されました。すばらしい環境に選手・スタッフ共に喜んでいました。

(支援係長 鈴木清張)



練習に熱が入ります





— 玉柏会通信 —



第46回 玉柏会 納涼大会

R3.7.18(土)

『昨年に引き続き、コロナ禍での開催でした』

第46回 玉柏会穴原荘 納涼大会の担当を、昨年度に引き続き務めさせて頂きました。

コロナ感染症流行の為、施設内関係者のみで荘内でのお祭り開催になりました。お神輿をご利用者協力のもと作成し、開始の合図として新人職員を中心に練り歩き、盛り上げてくれました。また、屋台では唐揚げ、たこ焼き、冷やし中華など各階に設置し、食券を利用してお祭りの雰囲気味わって頂けるようにしました。コロナ禍ですが、ご利用者の皆さんが気分転換になる行事をこれからも提案していきたいです。

(納涼祭担当: 支援員 安部貴裕)



ポーズが決まってる!!!



射 的



ヨーヨー釣り



祭りのはじまりだ〜



金魚すくい、
皆さんの真剣なまなざし!



アスレチック、川遊び



オークリーブス 夏休みの活動 『夏の思い出』

コロナ禍での夏休みの過ごし方は感染症対策を徹底していても、制限されてしまう活動もあり、さらに朝からの利用になるため、1日の大半をオークリーブスで過ごすことになります。そのため、ご利用児達が楽しみながら過ごせるのか、不安もありましたが、そのような中でも制作活動や虫捕りや川遊び等を行い、ご利用児の様子を見ているとコロナ禍で制限された中でも、ある程度楽しく、充実して過ごせたように思います。

(保育士 深田貴行)



看板作り、手形アート

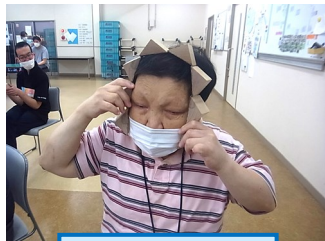


みすず事業所（就労継続支援B型事業所）

くつみきのそのさんが来所されました!>



くつみきドーム



やっこさん遊び

現在もコロナ禍で楽しみが減っている中で、感染対策を万全にして余暇活動を行ないました。昨年は残念ながら中止の恒例イベント【くつみきのそのさん】に今年は来ていただき、くつみき遊びを行ないました。

前回までは半日の活動でしたので、1日の活動は初めてでした。

くつみきドームはもちろん、くつみき無限列車や、やっこさん遊び、高く積み上げた「くつみき」をたくさん使った【積み木林】を作って、大いに楽しみました。

今回はくつみきドームを崩すことなく、くぐることもでき、とても満足された様子でした。隣の方とどれだけ高く積むことができるか？と競い合うご利用者もありました。久しぶりの余暇で、ご利用者の皆様の笑顔がとてもまぶしかったです♪

（みすず職業指導員 山本瞬平）



積み木無限列車



積み木林

みすず

自慢の利用者



いつも真面目な池端様をご紹介します。

昨年度から始めた新しい作業を主に行って頂いています。他の仲間よりも速いスピードで本数や向きなども正確です。1日を通して作業を行なって頂くことが多いですが、集中して取り組む姿は皆の見本になっています。また、夏の期間には草取りに多く参加され、職員が刈った草を一生懸命集めていただき、大活躍でした。

（みすず職業指導員 稲葉洋希）



通所3年目。頼れる仲間、池端さん

すずちゃんのひとひ言



音の出るドライバーで作業中♪

みすずには色々な作業があるが、最近作業の機材が新しくなったらいい。それはナットを締めるドライバーだ。

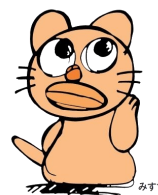
毎日遠くから様子を眺めていると、作業場に響く音がまるでリズムを奏でているように聞こえてきた。しかも作業担当のご利用者によって音の出方が異なるのだ。

吾輩も、一度動かしてみたいな～。
そうだ、みんなが帰った後に、こっそり試してみよう。

（すず）



これがウワサの・・・



かしわ寮 人気メニュー紹介

現在、かしわ寮の3人の世話人の皆さんに
人気メニューを紹介していただきました!

第一かしわ寮 (世話人 増田信江)

毎日の献立を作る時に、旬の食材を取り入れ調理するように心がけ、ご利用者に食を通じて季節を感じて頂けたら...と思い、励んでいます。今回、人気メニューを紹介するにあたり、ご利用者にたずねたところ、満場一致で『夏野菜カレー!』とのことでした。

これからも、ご利用者に喜んで頂ける調理を作りたいと思います。



☆夏野菜カレー
☆チコレギサラダ
☆サイダーゼリー

第二かしわ寮 (世話人 大瀧和則)

私自身、天ぷらの揚げ方については知識があります。また、カレーライスはご利用者の好きな料理の一つなのでカツカレーのほかビーフ、チキンなどを提供してその時折に味付けについて尋ねたりしております。そして、新たな取り組みとして煮込みハンバーグにも挑戦しました。ご利用者から『美味しかったよ』と笑顔で答えてくれると嬉しく思います。

これからも、同じ献立にならないよう創意工夫を凝らし美味しさの提供を心掛けていきたいと思っています。



☆煮込みハンバーグ
☆ふろふき大根
☆きゅうりの酢の物
☆コーンスープ

第二かしわ寮 (世話人 川津明子)

みんなで協力して夕食にカレーライスを作りました。野菜を切ったり炒めたりして、仲良く楽しい時間を過ごせました。『自分で作った夕食は美味しい!』と皆さん満足気な笑顔でした。お互いに協力し、仲良く生活する場面が増えています。



☆野菜たっぷりカレー
☆ポテトサラダ
☆卵スープ ☆煮物

R3.9.15 入社

注目!

新人職員のご紹介
です



齊藤 勝(穴原荘)
さいとう まさる



9月より1階に配属された齊藤勝と申します。夜勤専従になりますが、気軽に声を掛けて頂けたら幸いです。よろしくお願い致します。

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話

054-340-3565

FAX

054-340-3566

E-Mail

endo@tamagashikai.com

お悩み・相談なんでも
受け付けます

入所 ご利用者

《穴原荘・入所》
9月 高橋さん

【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話: 054-394-0311

FAX: 054-394-0312

E-mail sisiharaso@po4.across.or.jp

QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。

すずらん

